学校番号	3015

令和３年度　公民科

教科	公民科	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版「高等学校現代社会」　（数研出版）						
副教材等	「フォーラム現代社会 2021」　（東京法令出版） 「三訂版４ステージ演習ノート現代社会」（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代社会について学ぶと、テレビや新聞などで見る社会や、自分たちの周りの社会をもっと具体的に知ることができます。「ニュースを見るのが楽しくなる。」そんな授業をしていきましょう。

２　学習の到達目標

①環境問題や貧困・飢餓など、世界で起こっている諸問題について知り、国際社会はどのような解決策を提示しているのかを知るとともに、私たちが身近なところでできることを考えることができる。
②歴史上の人物や心理学者の考えを学び、今の自分たちがどのような存在で、将来どのような役割が求められるのかについて考える態度を持つ。
③民主政治が生まれた背景や、その仕組みと利点・欠点について、様々な角度から考えることができる。
④普段当たり前におこなっている経済活動を例に挙げ、市場経済の仕組みについて理解できる。
⑤グラフや数値を用いて、国際社会や国際経済の現状や動向、その問題点について理解することができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界で起こっている政治的･経済的諸課題に関心を持ち、自分たちが身近なところでできる課題について考える態度を持っている。	現代社会の構造について、様々な考え方や価値観がどのような歴史的背景から生まれたのか考えることができる。 また、これからの歴史を自分たちがつくっていくということを自覚し、現代社会の課題を解決するために、自分たちがどのような行動をとっていくか考えることができる。	グラフなどの資料から必要な情報を読みとる能力や、グラフなどのデータ資料を用いて自分が伝えたいことを表現する力を持っているかどうか。この力を本校で実施している課題研究の授業で活かしていくことができるかどうか。	現代社会の構造、課題、その原因や、どのような解決方法が世界でとられているのかについて理解している。
評価方法	ワークシート･グループワーク・定期考査	ワークシート･グループワーク・定期考査	ワークシート・グループワーク・定期考査	ワークシート・グループワーク・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	私たちの生きる社会	地球環境問題 資源エネルギー問題	○	○ ○	○ ○	○ ○	a. 私たちの暮らしが豊かになり、幸福な生活を送ることができるようになるにつれて、地球の環境が汚染され、生活環境が悪化してしまうことのジレンマに気付くことができる。また、先進国で暮らす市民として、当事者意識を持ってこの問題について考えようとしている。 b. 世界で起こっている環境問題やエネルギー問題について理解を深め、私たちが身近なところでできることや、私たちが住む日本に適したエネルギーの産み出し方・使い方について考え、表現することができる。 c. グラフを用いて、世界のエネルギー使用量がこの 100 年の間に急激に増加していることに気付き、産業構造の変化や経済発展など様々な要因が関連していることをグラフの数値から読み取ることができる。 d. 地球温暖化などの環境問題の発生要因について理解し、その問題は人間の活動によって引き起こされていることを理解できている。	ワークシート 授業内発表 定期考査

		生命をめぐる問題 情報をめぐる問題	○	 ○	 ○	○	a. クローン技術や人工知能などの技術革新が人類にもたらす幸福と、問題について両面から考えようとしている。 b. インターネット上の犯罪などについて知り、自分が知らず知らずのうちに犯罪行為に加担していないかなど、積極的に考えている姿勢が見られる。 c. グラフで途上国での労働力需要と人件費の推移を読み取り、人工知能やオートメーション化の結果、企業の戦略が変化しはじめていることを読み取ることができる。 d. 技術革新により、生活が便利になる上に、新しい市場やビジネスが生まれる反面、その便利さがはらむ危険性について理解できる。	定期考査 グループワーク
	青年期と自己の形成	青年としてのあり方・生き方		○		○	b. 青年期の特徴について、自分の身近な例にあてはめて考え、表現することができる。 d. 青年期がどのような技能を獲得していく時期なのか理解している。	定期考査
		先人の生き方・考え方 日本人としての自覚	○	○ ○		○ ○	a. 先人の考え方に興味を持ち、それらの考え方が歴史を動かしてきたということに関心を持っているか。 b. 先人たちはどのような時代背景に生まれ、その考えを打ち出したのか、また、いまを生きるわたしたちがどのような考えを持って生きることが望ましいのかを自分たちで考えることができる。 d. 様々な宗教的価値観やその生まれた背景を理解し、他者や他国の人々の考え方に対して寛容な姿勢を持つことができるか。	定期考査 ワークシート
	現代の民主政治と政治参	民主政治の基本原理		○		○	b. 民主政治の長所・短所を考え、他の政治形態と見比べて判断することができる。 d. 民主政治という意思決定の仕組みは、どのような時代背景で生まれたものなのか、また、その基本原理について理解している。	定期考査 ワークシート

		日本の政治機構		○	○	○	b. 民主政治という慎重な意思決定のシステムにはどのような利点があるのか考えている。 c. ニュースや新聞などを活用し、民主主義国家では実際にどのように意思決定が成されているのか積極的に調べることができる。 d. 立法・行政・司法がそれぞれどのような役割を持ち、お互いにどのように関わり合っているのか理解している。	定期考査 調べ学習
2学期		政治参加と民主政治の課題	○	○	○	○	a. 高校3年生から選挙に参加できることに興味を持って、学習に取り組んでいる。 b. 若者が政治に参加する意義を考えることができる。 c. 世論やマスメディアが意思決定にどのように関わっているのか、新聞やニュースの報道をもとにとらえることができる。 d. 参政権を持つにあたっての注意点や、日本の選挙制度について理解している。	定期考査
	現代の経済社会と計税活動のあり方	経済のしくみと市場機構		○	○	○	b. 需要と供給の変化にともなう価格の変動について、自分たちの生活の中から適切な例を見つけ出し、表現することができる。 c. 企業のＨＰを調べさせ、企業が世界的に行っているＣＳＲ活動は具体的にどのようなものがあるのか、企業で働く者は国際社会の中でどのようなマインドを持って行動していく必要があるのかについて自分たちで意見を出し合うことができる。 d. 資本主義経済に関する基礎知識、その問題点や解決方法について理解している。	定期考査 ワークシート
		財政と金融	○	○	○	○	a. 新聞やニュースを読み、世界や日本の財政政策の意味について興味関心を抱いている。 b. 好況・不況時のそれぞれに、各経済主体はどのような感情でどのように行動するのか、多角的に考えることができる。 c. 各国の経済成長率を割り出し、近年、多国籍企業がアジアなどの成長が著しい地域に進出していることや、その理由と影響について考えることができる。 d. 財政政策や金融政策など、国が意図的に経済に関与していくことや、政府にとっての利点について理解できている。	定期考査 グループワーク

		日本経済の発展と変化 豊かな生活と福祉の実現	○	○	○	○	a. 日本経済の発展や、発展に伴う問題点について関心を持っているかどうか。 b. 経済発展にともなって公害問題や労働問題が生まれてくることを考え、その問題をなぜ防ぐことができなかったかなど、当時の人たちの目線で考えることができる。 c. 男女の賃金格差や日本の労働の生産性の低さなどについて、グラフを用いて他国と比較し、その原因や解決方法を考えることができる。 d. 戦後の日本経済が発展していく流れの中で人々の暮らしがどのように変化したか、また発展の結果生まれた公害などの問題点について理解している。	定期考査 グループワーク
3学期	国際社会の動向と日本の役割	国際政治の動向	○	○	○	○	a. 新聞やニュースなどを見て、国際社会の情勢について興味を抱いている。 b. 国際法の考え方や国際連合のあり方はどのような時代背景から考え出されたものなのかを考え、その必要性について考えることができる。 c. 国連の予算の使い方などのデータから、世界では飢餓や貧困、紛争などの問題が発生していて、解決のためにどのように予算が使われているのかを読み取ることができる。 d. 国連のある意味と機能について理解している。	定期考査 グループワーク
		国際政治の課題と日本の役割	○			○	a. 核兵器や難民問題などの国際的課題が、自分たちにとって身近な問題であると意識している。 d. 日本は国際社会の中で、近隣の国々とどのように関わりを持っていたのかを理解している。	定期考査 グループワーク

		国際経済の動向 国際経済の課題と国際協力	○ ○	○	○	○	a. ＴＰＰなど、現代の国際経済の動向について、新聞やニュースなどのメディアから情報を獲得するなど、関心を持っている姿勢がうかがえる。 b. アジアやアフリカの発展により、世界各国の生活が豊かになっているが、それによって引き起こされる問題点について議論し、開発と生活環境の保護の両立を達成するにはどのようなことが必要なのか考えることができる。 c. 世界各国の人間開発指数や輸出品目の割合から、南北問題の生じる原因などについて、具体的な数値を使って考えることができる。 d. 国際経済のしくみや、そこから生まれる格差や貿易摩擦、環境問題などについて理解している。	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画　作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。